



新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス様

天井高4mの大講義室に設置 足元までムラなく暖かい“ゆらぎ放射空調”

「チーム医療」を担う人材育成に尽力
専門知識、技術、さらに人間性を育む教育を

新潟医療技術専門学校様は、1971年4月開校の医療技術者を養成する3年制専門学校です。臨床検査技師科、視能訓練士科、救急救命士科、看護学科の4学科を設置し、専門知識と技術をもったスペシャリストを育成しています。

医療の現場では、一人の患者さんに対して複数の専門職種がチームを組んで治療をおこなう「チーム医療」が広がりをみせています。学内実習では臨床現場で実際に使われている医療機器やシミュレーターを用いた技術指導がおこなわれ、多彩な臨地実習で実践力を強化しています。また、チーム医療での協働・連携に求められるコミュニケーション能力の向上や、それぞれの役割や考え方を理解できる調和のとれた人間教育にも尽力されています。

新潟市内には2つのキャンパスを擁し、「西新潟中央病院キャンパス」は病院に隣接する立地を活かした教育体制、「新潟キャンパス」は体育館とグラウンドを備えた充実のキャンパスライフが魅力で、学科を超えた交流も盛んです。



あらゆる現場を想定した実習室と
集中力を高める工夫がされた大講義室

「西新潟中央病院キャンパス」は2017年4月竣工の新校舎。臨床検査技師科と看護学科の学生たちが学んでおり、実習室では基礎実習から高度な想定訓練まで様々な技術を習得できます。最新医療機器のほか、看護学科ではこどもの看護を学習できるプレイルームの設置や、拡大する在宅看護に向けて日本の伝統的な仕様を備えた住宅を再現するなど、より実践的に学べる環境も整えています。

同キャンパス内の大講義室は144名の収納が可能で、講義だけでなく多人数対象のガイダンスやセミナー、式典に対応しています。天井高のある大講義室では空調機の気流による不快感や足元の冷えを緩和するために“放射整流空調”が採用されています。放射整流空調は、熱放射と微気流で室内温度を均一に整える新方式で、包まれるような空気質をつくるのが特徴です。放射整流ユニット「誘引エアビーム」は天井のほか壁面にも設置されており、より効果的に室内の温度ムラを解消し、快適感と集中力が持続する設計がされています。



USER PROFILE

新潟県新潟市
学校法人新潟科学技術学園
新潟医療技術専門学校 西新潟中央病院キャンパス様

納入製品

空気式放射整流ユニット「誘引エアビーム」

納入年度

2017年1月（18年12月26日取材）



風を感じない“ゆらぎ放射”に加湿が加わり 室内の温湿度を均一化

■ 組合せ自由。汎用性の高い誘引エアビーム

人が多く集まる大講義室には、冬期も新鮮な外気の導入が必要で、外気処理ユニット*1が採用されています。また、インフルエンザ対策として加湿による湿度コントロールにも重点がおかれ、適切な湿度を保っています。GHP式天埋エアコン*2の吹出口には「誘引エアビーム」を接続して不快な気流や温度ムラをなくし、人にやさしい空間を形成しています。*1、2共に他社製

■ 冬期の設定温度22℃でも快適な空間

大講義室の階下は駐車場になっており、天井は最も高い部分が床から4mある勾配天井です。空調するにあたっては厳しい条件ともいえますが、建物の断熱性能や加湿効果もあり、設定温度22℃で室内全体が足元まで暖かいとのことでした。

また、加湿時にもカビの原因となる結露は見られず、より衛生的な環境が保たれています。



勾配天井(最高4m)に設置



教壇のコーナーに縦設置(スリム形)

■ 病院にも最適な放射整流空調

メリット

① ゆらぎ放射

“風を感じない”という特長は、長時間ベッドから動けない患者様にやさしく、透析病院や透析室を中心に多く採用されています。

② 整流吹出し

従来の放射空調と異なり微気流を併用するため、空調機・外調機側での加湿・除湿が可能。高度な湿度管理が必要とされる病院空調には最適です。

③ 設備が簡単

従来の放射空調のように大掛かりな専用設備が必要なく、ダクト式空調機の吹出口として設置するだけで効果が得られます。*3

*3 空調面積相応の枚数設置が必要です

INTERVIEWEE

株式会社基設計
猪股様新潟医療技術専門学校
八木様

大講義室は音響・映像・照明だけではなく空調にも工夫を凝らしました。寒さが厳しい地域のため、十分な暖房が必要ですが、クレームはありません。結露も見られず快適な環境が保たれています。